

Y M C A 学院高校ピンクシャツデー企画
オネエがお届けする総合エンターテイメント

ENVII GABRIELLA

トークライブ in 南 Y M C A !



「男」ってナニ? 「女」ってナニ? ・ ・ ハザマを生きていいですか?

日時：2018年2月23日(金)

14:00-16:00 (13:30開場)

会場：南 Y M C A 2階ライブラリー

大阪市天王寺区南河堀町9-52 (JR・地下鉄・近鉄天王寺駅から徒歩5分)

定員100名 参加費1000円(高校生以下無料)

申込み・お問い合わせ：takeno-hana@osakaymca.org

本企画はみなさまの参加費と寄付金で開催します。
趣旨にご理解いただき、ご協力お願い申し上げます。
ご寄付はYMCA学院高校窓口か振込でお願いします。
寄付金は税制優遇の対象になります。

三菱東京UFJ銀行(店番:0005)

大阪為替集中支店(支店番号:108)

普通預金 口座番号:0230020

名義:公益財団法人 大阪YMCA

カガナ:ザイ)オオサカワイエムシーエー

*振込の際、振込者の氏名の前に「EG」を付けて
ください(指定献金とわかるため。)

主催：公益財団法人 大阪 YMCA

共催：学校法人 YMCA 学院高等学校

企画・運営：YMCA 学院高等学校



ピンクシャツデーとは

2007年、カナダの学生二人から始まったいじめ反対運動です。ある日、ピンクのシャツを来て登校した少年が「ホモセクシュアルだ」といじめられました。それを聞いた二人の学生が50枚のピンクのシャツを購入し、インターネットで「明日、一緒に学校でピンクシャツを着よう」と呼び掛けました。翌日学校では呼びかけに賛同した数百名の生徒がピンクのシャツや小物を身に付けて登校。学校中がピンク色に染まり、いじめが自然となくなったそうです。カナダでは毎年2月最終水曜日がPink Shirt Dayとして定められ、現在では70カ国以上の国で活動が行われています。大阪YMCAはこの世界的な活動に連なり、地域社会と協力・連携していじめの撲滅を目指します。

ENVii GABRIELLA（エンヴィィ・ガブリエラ）トークライブの目的

日本ではまだまだ性的マイノリティへの理解が浅く、個人的・社会的レベルにおいて、当事者たちを受け入れていない現実があります。今回、そのアイデンティティを公にして活動しているエンターテインメントユニット、ENVii GABRIELLAを招き、彼らのパフォーマンスおよびインタビューを通して、その体験や思いを知り、ライブ参加者が共生社会を目指して行動できることを目的としています。

ENVii GABRIELLA（エンヴィィ・ガブリエラ）プロフィール

オネエがお届けする総合エンターテインメントユニット。アーティスト・作家としてメジャーアーティストにも楽曲提供をしているTakassy(souljuice)。アーティスト・タレントとしてTVやイベントで活躍するHIDEKiSM。ダンサーとして、ショーやイベント、バックダンサーとして活躍するKamus。それぞれ違うフィールドで活動をしていたが、2017年3月、YouTubeチャンネルにて動画で楽しむ新宿二丁目をコンセプトに動画配信「スナック・ENVii GABRIELLA」を開始。様々なジャンルの相談に答えるコーナーや、LGBTについての質問などにも積極的に答える動画を配信している。また、ピンヒールをトレードマークとしており、ヒールでのパフォーマンスも大きな特徴である。ゲイ・オネエであることの全てを武器に、音楽をメインとし、バラエティ・ショー・ファッション・アートなどを創り出す、ENVii GABRIELLA(エンヴィィ・ガブリエラ)略して「エンガブ」という総合エンターテインメントユニットである。

主催：公益財団法人 大阪 YMCA

共催：学校法人 YMCA 学院高等学校

企画・運営：YMCA 学院高等学校

